あなたと博物館

松本市立博物館ニュース　No.207　2016.11.1

馬場家住宅の魅力再発見！

名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センター　平成28年度公開講座　9月10日実施

松本市教育委員会と名古屋大学重要文化財馬場家住宅研究センターが平成25年に締結した「文化･学術活動及び地域貢献に係る連携に関する覚書」に基づき、学術研究成果の社会還元と地域連携を図るため、市民を対象とした公開講座「馬場家文書と馬場家住宅が語る文化と歴史―遺産の魅力―」を開催しました。

もくじ

博物館TOPICS ◇ 松平直政没後350年パネル展……2-3
誌上博物館 ◇ 寄贈品紹介　神子柴型石斧（大字岡田井深出土）……3
博物館TOPICS ◇ 松本市基幹博物館整備事業アンケート調査……4
ガイドコーナー ◇ はんてんぼく……4

美しく生きる。
健康寿命延伸都市・松本

松平直政没後 350 年パネル展
－松本と松江をつなぐお殿様－

はじめに

今年は、松本藩主で後に松江藩主となった松平直政の没後 350 年の節目の年です。島根県松江市の松江歴史館では、特別展「松江藩主 松平直政の生涯」が開催され、当館所蔵の松本市重要文化財「寛永通宝松本銭と鋳造の許状」が展示されています。この関係から、松江市と協力・連携をし、当館では「松平直政没後 350 年パネル展－松本と松江をつなぐお殿様－」と題し、松平直政と松江市の紹介を兼ねたパネル展を開催しています。

1　松平直政とは

松平直政肖像画（所蔵　松江歴史館）

松平直政は、慶長 6 年（1601）に越前北ノ庄（福井県福井市）藩主の結城秀康の三男として誕生しました。徳川家康の孫で、第 3 代将軍家光の従兄弟にあたります。大坂の陣で初陣を飾り、上総姉ヶ崎、越前大野、信濃松本を経て、出雲松江の藩主となりました。

松本では石川家、小笠原家、戸田家に続いて入封し、統治期間は 5 年と短いものでしたが、松本城辰巳附櫓・月見櫓の増築、寛永通宝松本銭の鋳造、城下町の整備などの事績を残しています。その後、直政は出雲松江藩（島根県松江市）に移封となり、松江藩を 10 代 233 年間にわたって統治した松平家の初代となりました。

2　父・結城秀康

松平直政の父である結城秀康は、徳川家康の次男として誕生しました。豊臣家に養子として差し出され、秀吉のもとで育てられました。元服の際には、実父・徳川家康と養父・豊臣秀吉から一字ずつうけ、羽柴“秀康”と名乗ります。秀吉に実子が誕生すると、結城家へ婿養子に入って所領と家督を継ぎ、結城秀康となりました。関ヶ原の戦いの後、越前北ノ庄 68 万石を拝領し、慶長 9 年（1604）より松平姓を名乗ることを許され、北ノ庄城を築城しました。

3　初陣―大坂の陣―

大坂冬の陣で直政は初陣を飾ります。兄松平忠直の下で真田丸を攻めます。初陣ながら力戦奮闘する姿を見た真田信繁（幸村）は、直政に軍扇を投げ与えたという逸話が残っています。

大坂の陣の功績により、直政は上総姉ヶ崎 1 万石を拝領し、家持大名となります。

4　松本での事績

寛永 10 年（1633）に、越前大野 5 万石より松本に 7 万石で加増入封した直政は、松本城辰巳附櫓・月見櫓の増築や城下町の整備を行います。これは、将軍徳川家光が上洛の帰りに中山道を通って善光寺へ向う途中に松本へ立ち寄る計画があり、それを知った直政が家光を迎えるために行ったといわれています。2 つの櫓が増築されたのは、寛永 11 年のことです。争いがなくなり泰平の世が訪れ、城の増改築が許されない時代でしたが、幕府から特別な許可を得て増築を行いました。

月見櫓（提供　松本城管理事務所）

また、直政は寛永通宝の鋳造を松本で行います。貨幣鋳造は厳しく規制されており、水戸や岡山、仙台といった大藩で鋳造されていましたが、小藩であった松本で鋳造できたのは、直政と家光が従兄弟であったからといわれます。この寛永通宝松本銭は、松本市重要文化財に指定され、松本市立博物館が所蔵・常設展示しています。

寛永通宝松本銭
（所蔵　松本市立博物館）

他にも松本市の旧町名である“六九町”と“新町”の町名は、直政が城下町を整備した際につけ

られた名前といわれます。

5　松江市と松本市のかかわり

松江市は、松本市から直線距離で約450km離れた山陰地方に位置する、島根県の県庁所在地です。山陰最大の汽水湖・宍道湖と中海、松江城をとりまく堀川があり、水が豊富な土地であることから、「水の都」と呼ばれます。昨年7月には、松江城天守が国宝になり、松本市と松江市で交流が行われるようになりました。他にも、旧制高校があったり、連隊の誘致をしていたりといった共通点があります。また、松本市出身の彫刻家太田南海は、師・米原雲海のもとで松平直政像を製作し、戦前は松江城本丸に設置されていました。

おわりに

松本市立博物館で、松平直政にスポットを当てた展覧会を開催するのは今回が初めてです。松本城は知っているけど、歴代の松本藩主はよく知らない、そんな方が多いと思いますが、松本城辰巳附櫓・月見櫓や今も伝わる旧町名には、松平直政が大きな関わりを持っています。この展覧会をきっかけに、松平直政という人物や、松江市に興味をもっていただければ幸いです。

展示を見る観覧者

ぜひ本展をご覧いただいて松平直政と松江市に思いをはせてみてはいかがでしょうか。

（松本市立博物館　事業担当係／花村圭介）

松平直政没後350年パネル展－松本と松江をつなぐお殿様－

[会　期]10月1日㊏～11月27日㊐　会期中無休
午前8時30分～午後5時（ただし、入館は午後4時30分まで）
[会　場]松本市立博物館　2階展示室
[料　金]大人200円、小人100円

寄贈品紹介　神子柴型石斧（大字岡田井深出土）

岡田地区の大久保修身氏より、松本市立考古博物館へ旧石器時代の神子柴型石斧（みこしばがたせきふ）1点の寄贈の申し出があり、今回採納を決定しました。この石斧は、平成4年に大久保修身氏が、大字岡田井深の馬飼・刈谷原峠の分岐点から馬飼峠側へわずかに上った怒田原（ぬたはら）地点で採集し、親戚の大久保知重氏に預けていたものです。

神子柴型石斧は、昭和33年（1958）に発掘された天竜川段丘の神子柴遺跡（南箕輪村）からその名がとられており、旧石器時代最末期から縄文時代草創期にかけての石器の一型式とされています。

今回の寄贈品は、細長い撥（ばち）型で、斧身の横断面がカマボコ形をしていることから、横斧（現代の手斧（ちょうな）に近い）として、木材の伐採や動物の解体に使われたのではないかと思われます。全長は22.8cm、重量は705ｇの完形品です。考古博物館の収蔵品としては、数少ない旧石器時代の遺物です。

大久保修身氏は、出土地点の畑で農作業をしていたところ、粘土質の土の中から、この石斧を発見したそうです。知重氏が亡くなられた後、引き継いで保管されていましたが、この度、広く歴史資料として活用して欲しいとのことで、考古博物館に寄贈していただきました。考古博物館では、この寄贈品の公開を近日中に予定しております。貴重な郷土の文化財をぜひご覧ください。

（松本市立考古博物館　学芸員／赤羽裕幸）

神子柴型石斧（上：表面　下：側面）

博物館 TOPICS

松本市基幹博物館整備事業に対する皆さまのご意見・ご要望をお聞かせください。

現在の松本市立博物館

松本市では、松本市基幹博物館施設構想（以下「施設構想」という。）の策定を進めていますが、これと並行して市内に在住・在勤・在学している方を対象に、アンケート調査を実施し、基幹博物館整備事業に対するご意見・ご要望をお伺いしています。

アンケート調査では、回答していただいた方のお住まいの地域・年代、松本市立博物館への来訪歴などをお伺いするほか、新しく整備する博物館へ期待することや回答者の方が考える松本市の宝･松本市の誇りについてお伺いします。アンケート用紙は市立博物館及び分館、各地区地域づくりセンター、松本市美術館にあるほか、市公式ホームページからダウンロードできます。

アンケートの回答は11月18日（金）までに、郵送・FAX・電子メールいずれかの方法で、松本市立博物館（〒390-0873 松本市丸の内4番1号、FAX0263-32-8974、電子メール mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp）にお送りください。

アンケート調査は12月中旬までに集計を終え、松本市基幹博物館施設構想策定委員会にその結果を報告し、施設構想の策定に反映させていく予定です。

また、このアンケート調査の延長線に位置付けたワークショップも開催する予定です。このワークショップでは、現施設のバックヤードツアーなどを行いながら、アンケート調査などによってお寄せいただいたご意見・ご要望が、策定を進める施設構想案に反映されているか、ご意見をいただくものです。アンケート調査にご協力いただいた方のうち、参加をご希望の方から抽選で参加者を決定し、12月上旬に開催する予定です。

次年度以降についても、市民の皆さまと意見交換をしていく場を設けていくことを予定しておりますが、ぜひこの機会に、アンケート調査にご協力くださいますよう、お願いします。

（松本市立博物館　庶務係／堀井亮彦）

ガイドコーナー はんてんぼく

歴史の里から ☎0263-47-4515

親子はた織り体験講座

はた織り機を使い裂き織りで約18センチ×22センチの布を仕上げます。

日　時　11月27日(日)
　　午前10時～正午、午後1時～3時の2回
会　場　歴史の里　展示休憩棟
料　金　1,000円(材料代込み)
定　員　各回5組
対　象　小学生以上の親子(2人1組)
講　師　川上裕子氏／なかや工房にて裂き織りを主宰
申込み　11月5日(土)から
問合せ　電話で歴史の里へ

山と自然博物館から ☎0263-38-0012

季節の自然パネル展「アルプス公園秋冬コレクション 木の実と冬芽」

秋から冬にかけて、木々は子孫を残すための準備をしています。木の実や冬芽の写真から、それを紹介します。

会　期　11月12日(土)～平成29年1月24日(火)
会　場　山と自然博物館2階ホール
料　金　無料(常設展示は通常料金)

重文馬場家住宅から ☎0263-85-5070

そば打ち体験教室

日　時　11月27日(日)午前9時～正午
会　場　馬場家住宅主屋
料　金　500円
定　員　20名
申込み　電話で馬場家住宅へ
その他　馬場家住宅前ではお菜採りまつりが開催されます。

松本平の御柱展

松本地方に正月の風習として残る「御柱」の行事を紹介します。

会　期　12月3日(土)～平成29年1月22日(日)
会　場　馬場家住宅
料　金　通常観覧料
　　(大人300円、中学生以下無料)

馬場屋敷ピアノリサイタル

馬場家住宅恒例の、ピアノリサイタルです。江戸時代の民家で、110年前のピアノの音色を楽しんでみませんか。

日　時　12月17日(土)午後2時～
会　場　馬場家住宅
入場料　無料
演奏者　ヤスヨ･テラシマ･ヴェアハーン

内田のおんべ祭り見学会

重要文化財馬場家住宅周辺で行われている「内田のおんべ祭り」(市重要無形民俗文化財)を見学します。

日　時　1月14日(土)正午～午後4時
料　金　500円
定　員　10名
その他　行程はすべて徒歩での移動となります。
申込み　12月6日(火)から
問合せ　電話で馬場家住宅へ

松本民芸館から ☎0263-33-1569

演奏会「三線を楽しむ会」

企画展「やちむんの里　沖縄の民芸」の関連企画として、沖縄八重山地方の民謡をお楽しみください。

日　時　11月13日(日)午前11時30分～正午、午後2時～2時30分
会　場　松本民芸館
料　金　通常観覧料
　　(大人300円、中学生以下無料)
演　奏　沖縄音楽三線教室八重山古典音楽安室流保存会
問合せ　松本民芸館へ

あとがき

先日、魚谷祐介著『日本懐かし自販機大全』（タツミムック）を読みました。興味本位で購入しましたが、この人が研究しなければ、そばやラーメンの自動販売機など、存在自体が忘れられていったでしょう。ほんの数十年のことなのに、ひっそりと消えていく“歴史”が多数あることを思うと、なんだか儚い気持ちになります。（H.A）

あなたと博物館 No.207
発行年月日/平成28年11月1日
編集･発行/松本市立博物館
〒390-0873 松本市丸の内4番1号 Tel.0263-32-0133
URL：http://www.matsu-haku.com/
e-mail：mcmuse@city.matsumoto.nagano.jp
印刷 川越印刷株式会社